

令和2年12月25日
都市局公園緑地・景観課

密を避けて57,000人が過ごせる面積の屋上緑化！

～令和元年 全国屋上・壁面緑化施工実績調査の結果～

「新たな生活様式」におけるリフレッシュの場にもなる屋上緑化は、令和元年に約19.7ha、壁面緑化も約7.5haが新たに創出されました。

屋上緑化および壁面緑化は、ヒートアイランド現象の緩和や都市の低炭素化のみならず、人々に安全かつ利用が容易な緑地空間等を提供するため、全国的に取り組みが進められています。

国土交通省では、平成12年から全国屋上・壁面緑化施工実績調査を行っており、この度、令和元年における施工実績調査結果をまとめました。

調査結果の詳細は国土交通省ホームページをご覧ください。



調査結果
(国土交通省HP)



貢献するSDGsの目標

調査結果概要

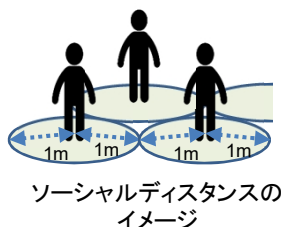
(1) 令和元年における施工面積

令和元年中に、屋上緑化は約19.7haが施工されました。

この面積は、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」において、ソーシャルディスタンスとして人との距離を2m*取る場合で、約56,936人分に相当します。

また、同年中に壁面緑化も約7.5haが施工されました。

*令和2年3月31日 基安発0331 第2号(厚生労働省労働基準局安全衛生部長)より



ソーシャルディスタンスのイメージ



令和元年に施工された屋上緑化の例
江東区立有明西学園

(2) 令和元年の特徴的な傾向

建物用途別では、ホテル等の宿泊施設を含む「その他サービス・娯楽施設」における壁面緑化の施工面積と割合、「工場・倉庫・車庫」における屋上緑化の施工割合が過去最高となりました。

また、植栽タイプ別では、様々な植栽を組み合わせる「複合植栽」による壁面緑化の施工面積が過去最高となりました(別紙1「事例紹介」参照)。

トピック: 技術を応用した暑熱対策

屋上緑化および壁面緑化の技術を応用した「緑陰施設」の設置例や体感温度の改善効果等を紹介したパンフレットおよびプロモーションビデオを作成しました(別紙2「トピック」参照)。

問い合わせ先 : 国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室 秋山 木村 井村

TEL: 03-5253-8111 (内線32963,32965)

夜間直通: 03-5253-8420

FAX: 03-5253-1593

事例紹介

令和元年の特徴的な傾向として、

- ホテルや宿泊施設を含む「その他サービス・娯楽施設」における壁面緑化が、建物用途別での割合、施工面積において、過去最高(8.8%、6,598㎡)となりました。近年のインバウンド需要を見越して外壁やエントランスの壁面等を緑化した事例が見られます。
- 大規模な整備事例が多い「工場・倉庫・車庫」における屋上緑化が、建物用途別での割合において、過去最高(24.9%)となりました。
- 商業施設でよく見られる、様々な植栽を組み合わせた「複合植栽」による壁面緑化が、植栽タイプ別での施工面積において、過去最高(18,934㎡)となりました。

以上の傾向を踏まえ、ここでは、宿泊施設の魅力度向上に緑化を生かしている事例や、眺望の良いデッキなど、人の集まる空間において積極的な緑化を実現した事例をご紹介します。

街の中心部に建つホテルにみどりを取り入れて魅力を高めた事例



壁面を連続的に緑化（左手前が駅前広場側）

都ホテル博多（近鉄博多ビル）（福岡市博多区）

緑や水をコンセプトに打ち出し、魅力をアピールするホテル

都ホテル博多は、九州最大の都市、福岡市の玄関口である博多駅前に建つホテルです。建て替えにあわせて「緑と水と光のホテル」というコンセプトのもと、空に近い上層階の壁面に緑と水を立体的に配置しています。

駅前広場からの視認性が高い北西角部では、緑が染み出すようなファサードにより、インパクトのある外観を実現しています。

建物の内外からのみどりの見え方を考慮し、デザインに反映

最上階には屋外温泉が設けられ、樹木を主体とした屋上緑化や壁面緑化による複合的な植栽により、上質でゆったりとくつろげる雰囲気を演出しています。

また地上のエントランス周辺やホテルのフロントがある3階でも重点的に緑化が行われているほか、夜間は建物全体のライトアップを行い、にぎわいの演出に貢献しています。宿泊者だけでなく周辺からのみどりの見え方を工夫してデザインされた、これからのホテルの緑化において、参考となる事例です。



屋外温泉施設に設けられた屋上緑化及び壁面緑化



壁面緑化と水の流れの組合せ



客室のテラス

諸元	
敷地面積	: 2,260㎡
建築面積	: 1,683㎡
緑化面積（屋上）	: 200㎡
緑化面積（壁面）	: 406㎡
階数	: 13階
完成時期	: 2019年

工場緑化の中で市民が心地よく過ごすことのできる場を提供している事例



展望台からみた屋上庭園（左下）。緑化された駐車場も建築物上に位置する。

高座クリーンセンター（神奈川県海老名市）

建て替えを機に、多くの市民が憩える開放的なパブリックスペースとして整備

高座クリーンセンターは、海老名、座間、綾瀬3市の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理する施設で旧施設の老朽化に伴い新たに整備されました。処理施設の他に屋内温水プールや、環境展示コーナーを備え市民活動に活用できる場を提供する施設である環境プラザがあります。ここには屋上庭園が設けられ、周辺環境と調和した施設をコンセプトに、市民や施設の見学者が心地よさを感じられる憩いの空間として開放されています。



施設全景（茶色の建物部分が環境プラザ）



屋上庭園の様子

立地を生かし、屋上庭園からの眺望も確保

建物の緑化を含め、敷地全体でまちづくり条例で定められた緑地率を超える緑化を行い周辺環境の向上にも寄与しています。屋上庭園からは、付近を走る東海道新幹線や天気の良い日には富士山を眺めることも出来ます。

諸元

敷地面積	: 15,975㎡
建築面積	: 7,630㎡
緑化面積(屋上)	: 1,012㎡
緑化面積(壁面)	: 836㎡
階数	: 10階
完成時期	: 2019年

大都市中心部における百貨店の屋外空間を、魅力度の向上に繋げている事例



7階の屋上庭園では、デッキが設けられ回遊ができるほか、レストランからは緑を眺めながら食事が出来る。高木はシマトネリコ、オリーブなどを植栽。

大丸心齋橋店本館（大阪市中央区）

都心部の市街地再開発における付加価値の向上をめざして

大丸心齋橋店本館は、大阪有数の商業地に立地する百貨店です。米国の建築家、ヴォーリスが手がけた大正モダンの雰囲気をとどめる建物を、外装、内装を一部残しながら、86年ぶりに装いも新たに建て替えられました。環境への徹底した配慮がなされ、建物全体を再生可能エネルギーですべてまかなうなど省電力化を図っているほか、建て替え前本館の屋上であった7階に屋上庭園が設けられました。

新たな屋上空間を創出し、回遊性を確保

屋上庭園の幹線道路に面した側には、憩いの場として心齋橋ひとときテラスが設けられ、デッキ上の空間を回遊できるほか、テラスに面したレストランやカフェでは緑を眺めながら飲食ができるなど、雰囲気を楽しむ空間づくりにより、集客の効果を発揮しています。

また、本館と北館の間を通る大宝寺通りの上空部に増築を行い、通りの外壁には意匠を凝らした壁面緑化がなされています。

屋上緑化、壁面緑化による新たな空間づくりにより商業施設の回遊性を高め、魅力度の向上に寄与している事例です。



建て替え前の意匠と屋上庭園が融合



建物の間にある大宝寺通りに設けられた壁面緑化。常緑の植栽（オオイトビカツラ等）によるストライプの植栽配置。

諸元

敷地面積	: 10,755㎡
建築面積	: 5,631㎡
緑化面積(屋上)	: 1,057㎡
緑化面積(壁面)	: 174㎡
階数	: 11階
完成時期	: 2019年

トピック

屋上緑化や壁面緑化の技術を応用した暑熱対策のご紹介

緑陰施設でつくる まちなかみどりのクールスポット (都市緑化による暑熱対策)

近年、都市空間において夏季の猛暑への対策が社会的課題となっており、暑熱対策として重要性を増しているのが「都市緑化」です。

国土交通省では、緑陰施設（植物で日陰を創出することにより、利用者の体感温度を改善する据え置き型の施設）を活用した「みどりのクールスポット」の創出を提案しています。

緑陰施設は、民間企業との協力のもと今回の報道発表でも取りあげている屋上緑化や壁面緑化の技術を応用して開発しています。

公園や広場、街路等の都市空間において緑陰施設による暑熱対策を推進するため、緑陰施設の設置例や体感温度の改善効果等を示したパンフレット及びプロモーションビデオを作成しました。パンフレット及びプロモーションビデオは以下の国土交通省ホームページよりご覧いただけます。

国土交通省ホームページ 緑陰施設でつくりまちなかみどりのクールスポット
https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000095.html



国交省 みどりのクールスポット

検索

■パンフレット(pdfファイル 66,322KB)

■プロモーションビデオ
(国土交通省YouTube: mlit channel)

